



志岐小通信 麟泉の風

校訓「かしこく」「やさしく」「たくましく」

令和5年度 11月20日 第8号 文責：栗原 克浩

《 創造力と表現力の育成！ ～学習発表会を通して～ 》



4年ぶりの全学年一斉開催の学習発表会を実施しました。1年生は「教科の学習で頑張ったこと」、2年生は「苓北町のすてき」、3年生は「新しく始まった学習内容」、4年生は「社会科見学で学んだ環境学習」、5年生は「水俣病と環境の学習」、6年生は「修学旅行で学んだ平和学習」について発表しました。さて、

情報活用能力は将来的に必要な力です。そこで「ICT機器」を全学年で使用し、その他「劇・クイズ・歌・楽器演奏・音読」等、各学年で工夫して発表しました。

変化の大きい将来を生きる児童にとって、未来を切り開く主体性が必要です。単に先生から与えられたものの発表でなく、今回は友達や先生と発表を創り上げ表現しました。学習発表会の目的の第一義は創造力や表現力の育成ですが、学校教育目標につながるさらに大きな目的は、自己肯定感と学級の絆の育成です。学習発表会という大きな行事をクラスみんなでやり遂げたという成功体験を通して、友達の絆を強めます。また、この成功体験をしっかりと賞賛することで、自己肯定感（自信）を高めたいと思います。ご家庭におかれましても、児童の頑張りや良さをしっかりと褒めていただき、自信につなげていただければと思います。

《 修学旅行で見た姿！～主体的学び・規範意識・絆～ 》

感染症等により児童の参加状況について大変心配しましたが、6年間で最も楽しみにしていた児童も多かった修学旅行を全員参加で実施できたことについて、非常に嬉しく思います。

平和学習では、ガイドさんの説明や資料をもとに被爆の状況を進んで記録し理解する等、主体的に学ぶ姿が見られました。吉野ヶ里遺跡では、北海道からの修学旅行団の女子高生にすれ



違いざまに挨拶をしました。その高校生は、わざわざ私のところまで来て、「心が温かくなりました」と言ってくれました。フィールドワークでは班でまとまり安全に動き、ホテルでも場に合った適切な立ち居振る舞いができ、公共の場での望ましい行動や規範意識がしっかりと身に付いていることを感じました。そして、友達との会話に花を咲かせながら料理をおなかいっぱい食べ、世界三大夜景の一つ長崎の絶景に感動し、枕を並べて眠る等、仲間と寝食を共にした経験を通して、強い絆が生まれたものと思います。

修学旅行は、ある意味、日常の「学校・家庭・地域での学びの評価の場」でもあります。2日間の学習及び生活の姿を通して、児童の確かな育ちが確認でき、非常に有益な修学旅行であったと感じました。

学校と社会で学びが行き来します。学校での学びを社会(修学旅行)で試し、社会(修学旅行)での学びを学校で生かします。今年度も残り後期の5ヶ月です。6年生には、最高学年としての「自分づくり」、「学校づくり」を大いに期待します。

【学校教育目標】

「自分大好き、友だち大好き、志岐小大好きと
笑顔でいえる子どもを育てる」

～ふるさと『志岐』を愛し、地域に

積極的に貢献する人材の育成～



【志岐小HP QRコード】

☆志岐小として身につけさせたい力「思いやりの心」「学び続ける力」「健康」「絆」

被害の最小化を！ 『苓北町防災訓練』



震度5強の地震発生及びそれに伴う津波と火災発生を想定した「苓北町防災訓練」が実施されました。訓練において、児童は「濃煙体験・消火訓練・救命救急法訓練」を体験しました。煙により視界の無い中、煙の吸い込みを防ぐためハンカチで鼻口を覆い低い姿勢で手探りの避難を行いました。また、消防士の方のアドバイスを受けながら、心肺蘇生とAEDの訓練も行いました。

さらに、校舎火災を想定し、3本のホースで校舎の屋根に向けた放水も行われました。仮に地震が発生した場合、その影響は一つの場所だけでなく、地域全体に及びます。そのため、行政・消防・学校・地域で連携し被害の最小化を図る訓練を行いました。コロナ禍で中止されていた地域全体での連携訓練が実施できたことは、大変有意義であったと考えます。ご協力頂いた全ての皆様に、心より御礼申し上げます。

【12月の行事予定】

そろえる！【対面の集会活動】

これまでコロナ禍の集会は全てオンライン開催でした。運動会等の特別な行事を除き、多くの教育活動は個別に行っていました。



先日の集会は、ホールにて全児童参集の上、対面で開催しました。「今月の目標の反省」と「来月の目標の発表」、「あいさつキャンペーン表彰」、「今月の歌の全員合唱」等の内容でした。初めは慣れずに緊張もあるかと思いますが、「継続は力なり」の言葉の通り、繰り返し行うことで多くの人前で話す態度や話し方の育成につながると思います。また、「礼・起立の動き・返事」等をそろえることで、集団行動様式の定着が図られていくと思います。

コロナ前当たり前に行っていた対面・参集型の活動に数年ぶりに取り組み、効果と必要性の高い活動であることに改めて気付かされました。

1	金	毛筆指導3年 人権集会
2	土	
3	日	
4	月	読み聞かせ1・2年 歴史講話5・6年 県学調3～6年(国)
5	火	県学調3～6年(算・質問紙)
6	水	
7	木	薬物乱用防止教室6年
8	金	持久走大会・学級懇談会(午前)
9	土	
10	日	
11	月	学力検査1・2年(国) 読み聞かせ:全 漢・計大会週間 大掃除週間
12	火	学力検査1・2年(算) 地区児童会
13	水	
14	木	毛筆指導6年
15	金	毛筆指導5年
16	土	
17	日	
18	月	読み聞かせ1・2年
19	火	
20	水	
21	木	
22	金	終業式(午前中授業・給食なし)
23	土	冬季休業日(～1/8)
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	仕事納め
29	金	閉庁(～1/3)
30	土	
31	日	